

北太平洋航海中に感ぜし海中地震に關する件

國際汽船株式會社
にりい丸船長

大倉各司氏報

本船、昭和三年五月五日米材を滿載して北米、ワシントン州ベリング公港を出帆日本向航海中五月十五日（東經五月十六日）午後五時廿八分（日本内地標準時にて午後二時十四分）北緯五十度六分西經百七十八度四十六分の所にて突然船體に激動を感じ恰も淺瀬に乗上たるか或はプロペラーの海中に墜落したるが爲に起りしが如き大震動を感じ候而して震動の時間は十二三秒に及び申候時も移さず、汽機、汽罐、各タンク等各樞要部を嚴重取調べ候處更に異狀無之候而るに再び本船使用時午後五時四十分以前に較ぶれば甚だ小さいショックを感じ申し候。

之が爲多分、海中地震ならんと相考へ附近航行中の船舶に無線電信にて聞合せ候處米船、スタンレー、ダラーナル船より、「午後五時二十分、北緯四十九度卅五分西經百七十九度四十三分海中地震を感ぜり」との報告有之愈々海中地震なる事を確め候右事實、何等かの御參考に迄御報告申上候。